

第11回免疫・感染症シリーズ 『DNAウイルスと疾患』

日時：2026年9月10日（木） 10:30～15:40

場所：千里ライフサイエンスセンタービル 5F 山村雄一記念ライフホール（WEB配信併用）

コーディネーター：

幸谷 愛 大阪大学 微生物病研究所 感染腫瘍制御分野 教授

川名 敬 日本大学 医学部 産婦人科学系 産婦人科学分野 主任教授

開催趣旨： DNAウイルスは持続感染、免疫回避、発がんに加え、自己免疫疾患との関連でも注目されている。本シンポジウムではEBV、HPV、HBVを取り上げ、各ウイルスの病態形成機構と臨床的意義を概説する。EBVと自己免疫、HPVによる発がん、HBVの持続感染を支えるcccDNA（covalently closed circular DNA）を中心に、ウイルスと宿主の相互作用、最新の診断・治療・予防戦略について議論し、基礎研究から臨床応用への展望を共有する。

10:35 - 10:50 **はじめに**
幸谷 愛 大阪大学 微生物病研究所 感染腫瘍制御分野 教授

10:50 - 11:30 **「免疫回避と分化可塑性からみたHPV関連子宮頸癌発癌機構」**
田口 歩 東京大学 医学部 産婦人科学 特任講師

11:30 - 12:10 **「EBV発癌における微小環境の重要性」**
幸谷 愛 大阪大学 微生物病研究所 感染腫瘍制御分野 教授

- 昼食 -

13:20 - 14:00 **「B型肝炎の機能的治癒に向けた新規Repeat RNAによる治療法開発」**
鎌倉 武史 大阪大学 微生物病研究所 感染腫瘍制御分野 助教

14:00 - 14:40 **「HPVに対する免疫応答と子宮頸部病変の相関性を基軸とする創薬開発と子宮頸がん予防戦略」**
川名 敬 日本大学 医学部 産婦人科学系 産婦人科学分野 主任教授

- 休憩 -

14:50 - 15:30 **「ネオセルフによる自己寛容破綻機構：EBV再活性化による新たな自己免疫疾患発症機構」**
荒瀬 尚 大阪大学 免疫学フロンティア研究センター・
微生物病研究所 免疫化学分野 教授

15:30 - 15:40 **おわりに**
川名 敬 日本大学 医学部 産婦人科学系 産婦人科学分野 主任教授

■参加費：無料 ■定員：会場参加 100名、WEB参加 500名

セミナー終了後、交流会（名刺交換会）を開催します。是非、会場にお越し下さい。

■申込方法：参加希望者は、当財団ホームページの「参加申込・受付フォーム」からお申込み下さい
<https://www.senri-life.or.jp/event/5758/>

■お問い合わせ：千里ライフサイエンス振興財団 セミナーY3事務局
E-mail: ono-2024@senri-life.or.jp
TEL：06-6873-2006



セミナーY3
Webサイト

主催：公益財団法人 千里ライフサイエンス振興財団
後援：バイオコミュニティ関西